

## 1 森林環境教育プログラム

### (1) 森の探検隊

森の中に 25 カ所ほど設置されているポイントを 5～7 名の班で巡回し、各ポイントで出題される指令（問題）を班の全員で考え、答え等を導き出したり、デジタルカメラで撮影したり、森の不思議について楽しく体験しながら学習できる森林環境教育プログラムです。

体験後は、学校で問題や撮影した写真などについて、資料等で調べたりして探検ノートを補完することで更に理解を深めることができます。

「森の探検隊」では、子どもたちが学びたいと思うポイントを自分たちで選び、問題に対する答えを導き出すことにより、理科・社会・算数・国語・道徳などを総合的に学ぶことができます。

今年度においては、新型コロナウイルスの感染の影響のため、小学生を対象とした「森の探検隊」は実施できなかったものの、近畿大学や奈良教育大学の学生の皆様にプログラムを体験していただき、体験を通じたご感想及びご意見をいただきました。いただいたご感想及びご意見により、より良いプログラムへ更新して参りたいと考えております。

また、仮設置であった指令書を常設看板に更新を進めており、プログラム体験が円滑に行われるよう取り組みました。これにより、プログラム参加者はもとより、体験学習の森へ散策に来られた方にも楽しんでいただけるものと思います。

来年度は、安全衛生面に配慮しつつ小学校を対象としたプログラムが実施できるよう、箕面市教育委員会と連携して参ります。



【写真一 近畿大学の国有林視察】



【写真二 リスの食痕（エビフライ）】



(2) モデルコースの選定

モデルコースの拡充については、有識者の助言指導をいただきながら取り組んでいます。

なお、今後は各コースの MAP 作成等により、来園者がより楽しんで樹木等の知識を深められるような仕掛けづくりに取り組むことにしています。

① 森の動物探検隊コース

雨天時に教室等で使用できるパワーポイントを作成し、今年度にホームページに公表する予定でしたが、探検隊コースの見直しにより、公表等が遅れていることから、来年度での公表等に取り組むことにしています。(QR コードは通信エリア外)



【動物探検隊コース説明資料】



【動物探検隊コース説明資料】

② 百人一首コース (新規)

百人一首に出てくる植物の中から箕面国有林で見ることが出来る植物に看板を設置し、身近な物語に出てくる自然に親しんでもらえる「百人一首コース」の設定に取り組んでおります。

今年度は委員等の助言を踏まえ、看板のデザイン案の作成を行いました。来年度は看板の発注及び設置等に取り組むこととしています。



【説明看板：ヤマザクラ (案)】

【説明看板：ススキ (案)】



③ 教科書にのっている植物コース（新規）

身近なものを題材に、子どもをはじめ一般の方が楽しく森林に触れ合ってもらえることを目的にして、小中学校の教科書に掲載されている植物を実際に見てもらえる「教科書にのっている植物コース」の設定に取り組んでおります。

今年度は、植物や森林環境教育の専門家からいただいたアドバイスを参考に看板デザインの微修正をした後、発注及び箕面国有林への設置を実施しました。来年度は、設置した看板の活用に向けてMAP及び現地に置くパンフレットを作成し、モデルコースの充実に努めていくこととしています。



【写真—3 看板設置（ヤマザクラ）】

## 2 森林環境教育の教材作成

(1) 創作紙芝居・絵本を活用した森林環境教育

当センターでは、森林環境教育用教材として、創作紙芝居・絵本『雨水のぼうけん』『もくざいのヒミツ』をHPで公開しています。

今年4月、熊本県で開催された『アジア・太平洋水サミット』において、林野庁に『雨水のぼうけん』の英語版を作成いただきました。あわせて英語版もHPに公開し、より多くの人に活用していただけると期待しています。

また、Youtubeにこの2作品に音声やBGMをつけた動画も投稿しておりますので、ぜひご覧ください。

なお、森林環境教育の教材として教育関係者や一般の方々からの配布の問い合わせが多いことから、令和5年2月に紙芝居を増刷し、教育関係機関に配布しました。



The Adventure of a Raindrop  
英語版『雨水のぼうけん』



### (2) 森林環境教育手引書（小学校編）の活用

森林環境教育手引書とは、森林環境教育を始めたい、もっと様々なプログラムを探したいという先生方に向けた手引書です。教科・学年別に多くのプログラムが掲載され、資料 DVD も付属しており、現場の先生方、森林教室等で役に立てていただけるものとなっております。

これは、小学校の学習指導要領改訂に伴い、当センターが検討委員会を開催して既存の手引書に新たな内容を追加し学習指導要領の改訂に合わせ、昨年度末に編集して発行しました。

好評のため、6月に1,000部増刷し、現在では2,200部が全国の教育大学、教育委員会等でご活用いただいています。



【森林環境教育手引書（小学校編）】

### (3) 森林環境教育手引書フォーラムの開催

森林環境教育手引書を多くの人に活用してもらうため、環境省近畿地方環境事務所の協力の下、6月25日（土）森林環境教育手引書活用フォーラムを開催し、全国30都道府県からオンライン参加を含め約160名が参加しました。手引書の改訂に携わってくださった委員の方々による講演及び手引書の解説を行い、会場参加オンラインの両方とも森林環境教育に対する熱意や思いが伝わってくるようでした。今後も箕面森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育が手軽に身近になるような取組を進めていきます。





【写真—4・5 会場内の様子】

### 3 森林環境教育の実践

#### (1) 森林環境教育教員研修

森林のもつ多様な機能について体験活動を通じて学び、理解を深める環境教育学習は、子どもたちの「生きる力」を育むうえでも大変有効であることから、森林を活用した環境教育の理解を深め、学校等教育機関での実践・普及を図っていくことを目的として、「遊々の森」の協定相手先である箕面市教育委員会と連携し、教員等を対象とした森林環境教育の研修を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止となりました。

引き続き、森林環境教育の推進に向けて、教育関係機関との連携が図られるよう取り組みを進めます。

#### (2) 森林環境教育実践研修の開催

森林環境教育等の実践技術を備えた職員を養成することを目的として5月23日(月)～27日(金)に開講された森林管理局職員研修「森林環境教育実践研修」において、技術普及課とともに講義を実施しました。

現地研修を中心に森林環境教育活動の企画、野外活動における安全管理、野外ゲーム実技、樹木の基礎知識、創作紙芝居実演などの習得等に取り組んでいただきました。特に、野外ゲーム実技については、外部講師として大阪森林インストラクター会



【写真—6 職員研修】

の方をお招きしアイデアに富んだプログラムを体験するなど、全般に楽しみながら学べる研修となりました。

研修にご参加していただいた方におかれましては、各署等において伝達研修などを実施していただき、署等全体で地域での森林環境教育を実践していただければと思います。



【写真一七 職員研修】

### (3) 環境省との連携事業（ESDfor2030 学び合いプロジェクト）

環境省との連携事業として、「ESDfor2030 学び合いプロジェクト」として近畿分科会に参加しました。

具体的な内容としては、箕面自由学園の教員の方と一しょに、新たにESDプログラムを作成するというもので「水に関する単元」の中で、森林の果たす役割について実践を通して伝えていくというものです。

11月1日（火）箕面自由学園の5年生（16名）を対象に、当センターの「雨水のぼうけん」を見てもらった後に、水源涵養について見てもらう実験、丸太が水を含んでることを感じてもらうための丸太切りなど五感で森林を感じてもらいました。

子どもたちは、森林を身近に感じてもらえたようで、「今度は森に行ってみたい。」と目を輝かせていました。

なお、この取組については、分科会の取組としてESD登録事業者の全国大会の中で紹介されました。

### (4) 「森の探検隊」奈良教育大学の受入れ

教員を目指している教育大学生のなかでも、特に環境教育について学んでいる「奈良教育大学ESDセンター」の学生たちに、当センターが、森林環境教育プログラムとして実践している「森の探検隊」を体験してもらいました。

2月28日（火）で、スタートはあいにくの寒空でしたが、学生たちには「森の探検隊」をとおして普段とは違う、森林を五感で感じるという時間を過ごしてもらいました。





その後、枝打ち作業体験や丸太切りにもチャレンジ、帰る時間ギリギリまで国有林の中で森林を目一杯、体感してもらいました。

参加した学生からは、教育大学の学生らしい目線でのレポートを提出してもらい、当センターとしても新たな仲間が増えたのを感じる一日でした。



【写真一八 探検隊を経験する大学生】

## 1 森林とのふれあいを目指した取組

### (1) 森林ふれあい推進事業

「国民の森林」として、森林での環境教育活動や体験活動など国民の福祉の増進等に寄与する活動として、森林への関心・理解を高めることを目的に「森林ふれあい推進事業」を実施しています。箕面国有林をフィールドとして、事業を実施していただける団体を募集し、協定を締結して、箕面森林ふれあい推進センターとの共催による事業を行いました。

#### ① カブトムシ里親まつり（協定相手方：特定非営利活動法人NPOクワガタ探検隊）

カブトムシの飼育を通じて命の尊さを学ぶイベントとして、「カブトムシ里親まつり」を令和元年度から実施しています。

参加いただいたご家族に、箕面市生まれのカブトムシ（成虫ペア）をお持ち帰りいただき、ご家庭で飼育していただくとともにその成虫が産卵したら、箕面国有林に放虫していただくというもので、今年度は7月18日（月）に（飼育編）を開催し、4家族、18名の皆さんにご参加いただきました。参加した皆さんは、受け取ったカブトムシを嬉しそうに見つめながら、「元気で仲良く育ててね」「ひと夏、一緒に過ごそうね」と声をかけていました。

なお、今年度は9月19日に（放虫編）を実施する予定でしたが、残念ながら台風のため中止となりました。その代わりに、10月21日（金）にNPOクワガタ探検隊の代表により、参加予定だった家族から預かった幼虫を箕面国有林（昆虫ベッド）に放虫しました。



【写真—1 カブトムシ里親まつり】



【写真—2 カブトムシと触れ合う様子】



② 森林セラピー体験（協定相手方：NPO みのお山麓保全委員会）

箕面の森林に親しんでもらうことを目的に、「みのお森のセラピー」を開催しました。

今年度は11月5日（土）に勝尾寺園地で開催し、5名の方にご参加いただきました。参加した皆さんには、紅葉を楽しみながらの散策、そのあとは、ヒノキ林の中に設置されたハンモックに揺られて森林の爽やかな空気を味わっていただきました



【写真－3 ハンモック体験】

参加者からは、「今まで木に直接触れたことが無かったので、貴重な経験になった。」「森林から元気もらった。」など、いつもとは少し違う時間を過ごせたとの感想をいただきました。

(2) 森林を素材にしたイベント（草木染め体験イベント）の開催

箕面国有林の森林整備で伐採したエドヒガン（サクラ）の有効活用及び、一般の方の森林に対する理解を深めることを目的として、令和4年12月17日（土）に近畿中国森林管理局1階で「サクライロをつくろう～草木染め体験～」を開催しました。

このイベントは約2年前から準備を進めてまいりましたが、令和2年度と令和3年度は残念ながら新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止としたため、ようやく開催することが出来ました。



【写真－4 布を水に浸ける様子】

当日は、兵庫県の一庫公園で活動されているひとくら草木染め森遊工房から3名講師として来ていただき、10家族26名の方にご参加いただきました。参加者からは、「布に模様を付けるのが難しかったけど、お気に入りの柄が作れた」「きれいなピンク色に染まって驚いた」などの感想をいただきました。

#### (3) 森林教室の実施（萱野小学校）

箕面ユネスコ協会からの紹介で、令和4年9月1日（木）と7日（水）の両日に、箕面市立萱野小学校の4年生（3クラス、104名）を対象にした森林教室を行いました。

今回の森林教室では、学校にある身近な植物をきっかけにして、子どもたちに箕面の山の楽しさや大切さを知ってもらうことを目的に、山の働きを楽しく学ぶことが出来る創作デジタル紙芝居『雨水のぼうけん』の上演や、学校の中庭にある樹木とのふれあい体験を行いました。

また、中庭で集めた葉っぱでしおり作りと、センターが準備したヒノキ丸太を使って丸太切り体験を行いました。子どもたちからは「丸太を伐るのは大変だったけど、楽しかった。」「丸太（断面）にある線（年輪）で木の年齢が分かるなんて知らなかったので、勉強になった。」という声が上がりました。



【写真一 5 ユリノキの葉を採取】



【写真一 6 自然観察学習館での様子】

#### (4) 他機関と連携した普及活動

令和4年8月7日（日）、万博記念公園 自然観察学習館（大阪府吹田市）と共催で、「山の日」イベントとして「木がくれたごほうび」を開催しました。自然観察学習館のボランティアの方々によるムクロジを使った実験や、センターからは紙芝居『雨水のぼうけん』の読み聞かせや、葉っぱのしおり作りを行いました。

参加者は、園内を樹木の解説を聞きながら園内を探索した後、学習館で思い思いの葉っぱのしおり作り、そして紙芝居の上映に聞き入りました。



【写真一 7 森林教室の状況】



## 2 冊子活用状況

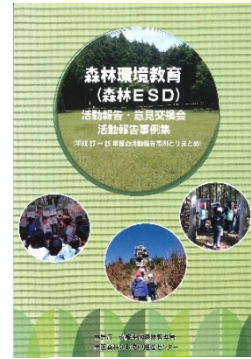
森林環境教育手引書〈小学校編〉・森林環境教育推奨事例集配布状況



森林環境教育手引書〈小学校編〉



推奨事例集



活動報告事例集



『雨水のぼうけん』絵本版



『もくざいのヒミツ』絵本版

配布月	府県	配布先	配布物
2021年 4月	奈良県	近畿大学	手引書・森林環境教育推奨事例集・森林ESD活動報告事例集 各10部
2021年 7月	全国	各関係機関 図書館等	『雨水のぼうけん』絵本版 200冊追加印刷 うち100部配布
2022年 1月	全国	各関係機関 図書館等	『もくざいのヒミツ』絵本版 200冊印刷
2022年 3月	全国	管内2府12県 市町村の教育 委員会 各関係機関等	新版・森林環境教育手引書 2,000部印刷 うち1,100部配布
2023年 9月	全国	各関係機関	手引書 1,000部増刷、新たに1,300部配布 『もくざいのヒミツ』100冊、『雨水のぼうけん』90冊

### 3 情報発信

#### (1) 活動紹介

##### ① 局の「森林（もり）のギャラリー」

令和4年4月1日～4月30日に当センターの各種取組について パネルで紹介展示予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に基づき、大阪府ではまん延防止等重点措置期間中のため、4月に延期となりました。



【写真一八 森林のギャラリー展示】

##### ② 農林水産省消費者の部屋

令和4年12月7日～12月11日

#### (2) こだま通信

NO.120～NO.121 を発行し、箕面森林ふれあい推進センターの取組状況についての情報発信を行いました。

## こだま通信 No.120

**こだま通信** Kodama Communication R.4.9 No.120 林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

**『森林環境教育手引書活用フォーラム』を開催しました！**  
～子どもたちに森への招待状、届くといいな～

箕面森林ふれあい推進センターでは、未来の子どもたちに、より良い環境を残していくSDGsの取組の一環として6月25日(土)、環境省近畿地方環境事務所の協力の下により、「森林環境教育手引書活用フォーラム(森ノ宮合同庁舎)」を開催し、全国30都道府県からオンライン参加を含め約160名が参加しました。

このフォーラムは、昨年度改訂した『森林環境教育手引書』を、多くの方々に「見てもらいたい、使ってもらいたい」という思いを込めて開催したもので、改訂にあたって検討・執筆いただいた委員の方々による講演及び手引書の解説を行いました。

限られた時間での開催でしたが、参加者の森林環境教育、森林への熱い思いを感じることができるとともに、

私たちは、これからも未来の子どもたちに森林を身近に感じてもらえるような取組を積極的に進めて参ります。

**『森林環境教育手引書(2022.年9月改訂)』**

学校の授業での活用だけでなく、地域での環境教育でも活用できる手引書です。

手引書の活用方法や、活用事例、活用ツール、活用ツールをダウンロードできるリンク、活用事例を掲載しています。

森林環境教育手引書の活用方法や、活用事例、活用ツール、活用ツールをダウンロードできるリンク、活用事例を掲載しています。

箕面森林ふれあい推進センターの職員挨拶

近畿中国森林管理局 和歌山支所の職員挨拶

近畿地方環境事務所 和歌山支所の職員挨拶

箕面森林ふれあい推進センターの職員挨拶

こだま通信 No.120 page1

**『カブトムシ里親祭り(飼育編)』を開催しました！**

本格化した夏の強い日差しを浴びながら、7月18日(月)に、エキスポ'90箕面記念の森「花の谷」(大阪府箕面市)で『カブトムシ里親祭り』を開催しました。

この『カブトムシ里親祭り』とは、参加者が夏の間、里親として地元産のカブトムシを飼育します。その後、秋に予定している『カブトムシの里親祭り(放虫編)』で、生まれた幼虫を持ち帰り、来年少カブトムシが成虫になるのに向けて、「花の谷」内に設置してある昆虫ベッドに戻す取組で、NPOクワガタ探検隊(西義史理事長)と箕面森林ふれあい推進センターが連携し、森林ふれあい推進事業として令和元年から毎年実施している夏の恒例イベントです。

当日は天候にも恵まれ、4家族18人が参加しました。

はじめに、当センターの長岡所長からの歓迎の挨拶の後、NPOクワガタ探検隊による創作紙芝居を上演しました。参加者は車座になって興味深く観賞していました。

その後、「花の谷」のビोटープを探検したあと、これからひと夏を過ごすカブトムシのペアを、西理事長から受け取りました。

参加者は、やっつとふれることのできたカブトムシに「元気で仲良く育てね」「ひと夏、一緒に過ごそうね」と話しかけるなど、これから一緒に過ごす新しい家族にご対面して嬉しそうでした。

箕面森林ふれあい推進センターでは、今後も様々な機会を通じて、たくさんの皆さんが自然に触れ合えるような場所を提供して参ります。

ベアで観察よし！おながいします！

参加者の皆様とスタッフ

**スタッフの異動**

令和4年3月31日付(定年退職) 所長：高山 伸吾  
令和4年4月1日付(転入) 所長：長岡 浩明 和歌山森林管理署から

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター  
TEL:050-3160-6745/FAX:06-6881-2055  
〒530-0042 大阪府北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局 2F  
URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\_fc/  
E-mail: kc\_fureai@maff.go.jp

当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 こだま通信 No.120 page2



こだま通信 No.121

## こだま通信

林野庁 近畿中国森林管理局  
Kodama Communication R5.1 No.121  
眞面森林ふれあい推進センター

### 万博記念公園自然学習館と家族向けイベント 「木がくれたごほうび」を開催!!

令和4年8月7日(日)、万博記念公園 自然観察学習館(大阪府吹田市)と共催で、「山の日」イベントとして「木がくれたごほうび」を開催しました。イベントには15家族36名の皆さんが参加し、万博記念公園内の森林にふれあって楽しんでいただきました。

はじめに、自然観察学習館のボランティアの方々による木の実や葉を使った「植物おもしろ・不思議大実験」に続き、学習館周辺の森林散策が行われ、所々で樹木の説明があり、参加者からは、驚きや興味の声がかげました。

ひと汗かいて学習館に帰ってきた参加者には、当センターの創作紙芝居『雨水のぼうけん』を上演し、「森林の働き」について学習しました。

子どもたちからも、「面白かった。」「雨水が森を通過して飲み水になるまでの流れが分かった。」などの感想が寄せられました。そのあと、もっと森林にふれあってもらうべく、先ほど散策した公園内の葉っぱを自由に選んでラミネートし、葉など、思い思いの作品作りをしました。参加者は、「木がくれたごほうび」に満足そうにいました。また、希望者には、ヒノキの丸太切りを体験し、最後にもう一汗かいていました。



創作紙芝居の上演

葉っぱのしおりづくり

森林教室の様子

丸太切り体験

こだま通信 No.121 page1

## 眞面市立萱野小学校で 森林教室を 行いました!



9月1日と7日の両日に、眞面市立萱野小学校の4年生(3クラス、104名)を対象に、学校にある身近な植物をきっかけに眞面の山を知ってもらおう森林教室を行いました。

具体的には、山の働きを楽しく学ぶことが出来る創作紙芝居『雨水のぼうけん』の上演や、学校の中庭にある樹木とふれあい体験を行いました。子どもたちにはこの体験を通して、普段は気にとめていなかった校内の樹木や葉っぱを、身近に感じてもらうことが出来ました。

また、今回の森林教室では、集めた葉っぱで葉づくりと丸太切り体験を通して、五感をフルに使った体験も行いました。葉づくりでは、事前に通学路などで子どもたちが集めてきてくれた葉っぱをラミネートして、各家庭に持って帰ってもらいました。丸太切り体験では、眞面国有林で間伐された木を、子どもたちにごほうびを使って(初体験の子どもも多かったですが)切ってもらいました。

子どもたちからは「丸太を切るのは大変だったけど、楽しかった。」「丸太にある線で木の年齢が分かるなんて知らなかったの、勉強になった。」という声が上がりました。



葉っぱをラミネートした葉

丸太切り体験

※間伐：森林の混み具合に応じて、一部を伐採し、残った樹木の成長を促す森林を育成するための作業

こだま通信 No.121 page2

## 紅葉の眞面滝道で 『山とみどりのフェスティバル』に 参加しました!!



北摂の山々が色づき始めた11月3日、明治の森 眞面公園の瀬安寺(りゅうあんじ)前広場において、「山とみどりのフェスティバル(主催:眞面市、NPO法人みのお森林山麓保全委員会)」が開催され、当センターは、眞面の森林を感じていただく企画として、「葉っぱの葉づくり体験」及び「松ぼっくりのミニツリーづくり体験」を出展しました。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、過去2年中止となった当イベントも、今年は好天に恵まれ、また、眞面大滝に向かう「滝道」に近いこともあり、家族連れや訪日の外国の方など、多くの方が立ち寄られ、赤く染まったカエデの葉など、好みの葉で葉づくりを楽しんだり、松ぼっくりに思い思いの装飾をしたミニツリーを作成するなど、森の恵みの工作を楽しんでいました。

また、会場に設置された「ふれあいステージ」では、当センター職員が創作紙芝居『雨水のぼうけん』を上演し、主人公のニュちゃん雨が雨水になって冒険しながら森に育まれていくストーリーを通じて、森の大切さを説明しました。小さな子どもをはじめ、鑑賞いただいた皆さんは、興味深そうに見入っていました。



創作紙芝居『雨水のぼうけん』の上演

当センターの体験コーナー

葉っぱの葉づくり

松ぼっくりのミニツリーづくり

こだま通信 No.121 page3

## 眞面森林ふれあい推進センターでは、11月25日(金) 吹田市の万博記念公園にて、「自然観察学習館」の方々と一緒に、牧落幼稚園(眞面市)の子どもたち(42名)に「自然を感じてもらおうプログラム」を行いました。

### 牧落幼稚園の子どもたちに『葉っぱのしおり』を作ってもらいました!

午前中は「自然観察学習館」のボランティア(ソラードの会)の方々が、秋の木の実などを使ったクラフト体験を行いました。子どもたちはお気に入りの木の葉を組み合わせて、オリジナル作品を作り上げていました。最後に完成したお友達作品を見て回り、楽しそうに感想を言い合っていました。午後は、当センターの出番です。創作紙芝居『雨水のぼうけん』の上演と公園内の葉っぱを使った葉づくりを行いました。紙芝居では、子どもたちから「なんで森を通ると水がきれいになるの?」という質問や、「森を通ると水が美味しくなる」ということがわかった。」という感想がありました。「葉っぱの葉づくり」では、赤や黄色に色づいた葉っぱの中から、自分好みのものを選び、好きな形に切るなど、熱心に思い思いの作品を作り取り組んでもらいました。子どもたちからの「これはお母さんへのプレゼント」「帰って絵本に挟むんだ」「葉っぱがこんなにキレイになるなんてびっくり」との言葉と一緒に、葉を持ち帰ってもらいました。当センターでは今後とも、子どもたちが楽しみながら自然と触れ合えるようなプログラム作りにも努めてまいります。

### 編集後記 インターンシップ生を受け入れました!!

眞面森林ふれあい推進センターでは、9月12日(月)から9月16日(金)にかけて、大学生2名(3回生)を、インターンシップ生として受け入れました。今回は、当センター内のデスクワークのほかに、「体験学習の森」の整備やモニタリング作業の現場を経験していただきました。初日は緊張した様子だった学生も、「体験学習の森」では、特定外来種の「ウシガエル」の駆除や、新たな学習ルートの整備、さらには、シガ捕獲作業では、偶然にも「くぐり鼠」で捕獲されたニホンジカの個体処理に立ち会うなど、いろんな仕事を体験し、1週間のインターンシップが終わるころには少しずつ笑顔も見え出て、職場の雰囲気にも慣れてきた様子でした。

我々も、研修生の若さと元気な姿を見てパワーをいただき、初心にもどってより多くの皆様に、森林・林業の大切さを普及する取組を進めて参ります。



シガ捕獲体験

収穫調査(河瀬)

林野庁 近畿中国森林管理局 眞面森林ふれあい推進センター  
TEL:050-3160-6745/FAX:06-6881-2055  
〒530-0042 大阪府北區天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局2F  
URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo.fc/ E-mail: kc\_fureai@maff.go.jp  
当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 こだま通信 No.121 page4

- (3) 近畿中国森林管理局広報誌「森のひろば」No.1155 令和4年6月号  
新たな学習指導要領の改訂に伴い、平成24年度に作成した「森林環境教育手引書」を改訂したことが紹介されました。



**トピックス**

## 学校教育の現場で使ってもらいたい「森林環境教育手引書〈小学校編〉」の改訂について

【箕面森林ふれあい推進センター】

箕面森林ふれあい推進センターでは、小学校向けの「森林環境教育手引書」を平成24年に作成し、管内2府12県の教職員等の皆様に活用していただきました。このような中、平成28年度に小学校の学習指導要領が持続可能な社会の実現に向けて現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成を重視するよう改訂され、令和2年度から全国の学校現場で実施されることとなりました。このため、私たちの「森林環境教育手引書」も新たな学習指導要領に対応させるべく、外部有識者、教職員で構成する「森林環境教育手引書改訂検討委員会（委員長京都教育大学山下宏文教授）」を設置し、検討を重ね、令和3年度に新たな手引書を取りまとめていただきました。



今回の手引書は、「生活科」、「社会科」、「理科」、「図画工作科」の4教科の補助教材として、授業やフィールドで活用できるよう、教科ごとにプログラム（授業展開例）を掲載しています。

また、新たな特徴として、それぞれのプログラムについて、学習指導要領との関連付け、「各テーマの目標」を明確にし、授業を通じて育成すべき子どもたちの資質と能力を提示するなど、森林環境教育に携わる教職員の皆さんが分かりやすい内容となっています。

当センターでは、作成したこの手引書を教育現場で広く役立てていただくために、管内の各府県及び各市町村の教育委員会へ配布しているほか、Webサイトにも掲載しています。

さらに、6月25日（土）に森林環境教育の重要性について幅広く発信するために、「森林環境教育手引書活用フォーラム」を開催することとしています。

当センターでは、「森林環境教育手引書」以外にも、国有林をフィールドとしたオリジナルの環境教育プログラム「森の探検隊」の作成、森林環境教育に関心のある教員向け研修の実施、子どもたちに森林の魅力を伝えることを目的とした創作紙芝居及び絵本の作成などにも取り組んでおり、引き続き、NPO等が行う野外活動や森林環境教育などを支援するため、関係機関と連携しながら取り組んでまいります。

- (4) 近畿中国森林管理局広報誌「森のひろば」No.1157 令和4年8月号  
森林環境教育に関心のある教育関係者等に「見てもらい、使ってもらいたい」



との思いを込めて「『森林環境教育手引書』活用フォーラム」を開催した内容が紹介されました。

NO. 1157

**ニュース**

**「森林環境教育手引書」活用フォーラムへのご参加ありがとうございました。**

【箕面ふれあい推進センター】

6月25日(土)、未来の子どもたちに、より良い環境を残していくためのSDGs活動の一環で、森林を身近な



柏原局長挨拶



山下京都教育大学教授の基調講演

ものとして感じてもらう第一歩として、林野庁近畿中国森林管理局と環境省近畿地方環境事務所の協働により、環境教育に関心のある皆様に「見てもらいたい、使ってもらいたい」との思いを込めて「『森林環境教育手引書』活用フォーラム」を開催いたしました。

会場及びオンラインにより、全国30都道府県から160名を超える皆様に参加いただきました。限られた時間での開催でしたが、環境教育、森林への熱い思いを感じることができたひとときでした。



最後まで熱心に参加いただいた皆さん

私たちは、これからも未来の子どもたちに森林を感じてもらえる取組に積極的に取り組んでまいります。

皆様のご参加、本当にありがとうございました。

**「古事の森育成協議会」を開催しました。**

【奈良森林管理事務所】

奈良森林管理事務所では、国宝・重要文化財等に指定されている神社・仏閣等の修復に必要な大径長尺材を確保するために、地域の育成協議会と協定を締結して、『春日奥山古事の森』と『斑鳩の里法隆寺古事の森』の2箇所を古事の森に設定し、国民参加の森づくりを進めています。

奈良市内において、6月24日(金)、「令和4年度春日奥山古事の森育成協議会」を開催し、全ての関係機関から委員等24名が出席しました。

会議は、春日大社禰宜の今井会長の挨拶で始まり、古事の森の取組内容



挨拶する今井会長

やこれまでの活動の歩み等についての紹介がありました。

議事内容については、昨年度の活動報告及び今年度の活動計画案として、コロナ禍により昨年度中止とした興福寺の特別参拝を含めた普及啓発イベントを実施する提案がなされ、承認されるとともに、令和6年度に計画されている間伐の実施方法等について意見交換を行いました。

また、7月12日(火)には、当所において、「令和4年度斑鳩の里法隆寺古事の森育成協議会」を開催し、委員7名を含む13名が出席しました。

会議では、法隆寺管長の古谷会長より、「古事の森は、神社仏閣等の修復



挨拶する古谷会長

に必要な大径長尺材などを数百年かけて育成する超長期的なこれまでないもの。関係者が連携して取り組んでいくことが必要。」などの挨拶がありました。

議事では、保育間伐の実施も含めた普及啓発イベントを来年度実施する方向で調整することが確認されました。

## 1 運営推進懇談会（箕面森林ふれあい推進センター）

### （1）趣旨

箕面森林ふれあい推進センターでは、森林づくり活動や自然再生活動を行っているNPO団体等及び森林環境教育を推進している教育関係者等の要望を的確に反映した取組等を行うため、当センターの運営に関して、学識経験者、森林ボランティア活動を行っている者及びマスコミ関係者をメンバーとする懇談会を設置し、懇談会等からの意見及び要望等を反映させた対話型の取組、効果的かつ効率的な運営を推進しています。

### （2）検討事項

- ア ボランティアによる森林整備活動に関する事
- イ 自然再生に関する事
- ウ 森林環境教育支援活動に関する事
- エ 情報の発信に関する事

### （3）懇談会委員

- ・北出 昭（毎日新聞社大津支局 記者）
- ・久山 慶子（フィールドソサエティ 事務局長）
- ・山下 宏文（京都教育大学 社会科学科教授）
- ・八代田 千鶴（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 関西支所 生物多様性研究グループ 主任研究員）

### （4）令和4年度運営推進懇談会実施概要

第1回運営推進懇談会を、7月22日（金）、近畿中国森林管理局（桜ノ宮合同庁舎）において、WEBと併用で開催しました。

懇談会では、令和3年度事業実施状況及び評価、令和4年度活動予定について、各担当者から説明を行い、各委員との質疑応答を行いました。

専門委員からは、「郷土の森」の整備方向について、「紅葉に特化した山づくりをしてはどうか」、新たに設定する「百人一首コース」「教科書掲載植物コース」等に関し、「現地に行かなくても、趣旨等をまとめた冊子があれば活用できる」、森林環境教育への参画について、「小学校だけでなく、『森のようちえん』やボランティア団体へなど、色々な



【写真—1 WEB方式による説明】



方々が参加できるよう情報発信していただきたい」、森林環境教育教員研修について、「季節にとらわれず、また室内でも開催してほしい」、創作紙芝居「雨水のぼうけん」英語版について、「中学校の英語教材として宣伝すれば良い」、制作中の創作紙芝居第3作について「雨水のぼうけん」「もくざいのヒミツ」に続くような素敵なタイトルにしていただければ」といったご意見、ご助言をいただきました。

専門家委員からいただいたこれらのご意見やご助言を踏まえ、実施可能なものから取り組むとこととしています。

また、令和5年度については、委員の皆様からのご意見により、箕面国有林において実施することとしています。

## 2 取組一覧・連携一覧

### (1) 森林環境教育関係

各種事業を通じて、森林環境教育等の普及・技術提供・情報発信に取り組んでいます。

年月日	内 容	参加者	場 所
2022/5/18	Y M C A 学院高等学校へ出前授業	高校生	大阪市
2022/6/29	第1回「箕面体験学習の森」育成・活用事業（Ⅲ）検討委員会	検討委員会委員	箕面国有林
2022/7/18	カブトムシ里親まつり（飼育編） （N P O クワガタ探検隊と共催、森林ふれあい推進事業）	公募	箕面国有林
2022/7/22	第1回箕面森林ふれあい推進センター運営推進懇談会	懇談会委員	局(Web方式)
2022/8/21	近畿大学中高大連携プロジェクト 「みのおフォレストフォーク」	大学生等	箕面国有林
2022/9/2 ・7	萱野小学校森林教室	4年生	萱野小学校
2022/12/1	近畿大学生国有林視察案内	大学生等	箕面国有林
2023/2/24	第2回「箕面体験学習の森」育成・活用事業（Ⅲ）検討委員会	検討委員会委員	箕面国有林
2023/2/28	奈良教育大学森林環境教育体験	大学生等	箕面国有林

### (2) シカ被害対策関係

シカ被害対策を通じて、自然再生及び多様な生態系の維持に取り組んでいます。

年月日	内 容	参加者	場 所
2022/5/16	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会 箕面支部	箕面国有林
2022/12/26	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会 箕面支部	箕面国有林
2023/1/26	シカ捕獲事業安全指導	大阪府猟友会 箕面支部	箕面国有林

## (3) 地域等との協働

地域・NPO団体等との連携を大切にして活動しています。

年月日	内 容	参加者	場 所
2022/4/21	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 90 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外)	箕面市役所
2022/5/19	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 2022 年度 (令和 4 年度) 総会	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外)	箕面市役所
2022/5/19	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 91 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外)	箕面市役所
2022/7/11	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 第 1 回幹事会	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会幹 事 (大阪府、箕面市 外)	箕面市役所
2022/7/21	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 92 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外)	箕面市役所



2022/7/29	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 総会	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 (大阪府、箕面市外)	箕面市立 市民会館
2022/9/15	明治の森箕面自然休養林管理 運営協議会 (第 93 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外)	箕面市役所
2022/10/20	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 94 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外)	箕面市役所
2022/10/26	明治の森箕面国定公園マナーア ップ推進パトロール	大阪府北部農と緑の総 合事務所、大阪府池田 土木事務所、箕面市外 箕面国有林外	箕面国有林外
2022/11/3	みのお山とみどりのフェスティ バル	みのお山麓保全委員会	龍安寺 前広場
2022/12/3	第 17 回箕面の山大掃除大作戦	箕面の山パトロール 隊、箕面市不法投棄防 止対策連絡会、明治の 森箕面国定公園保護管 理運営協議会外	明治の森箕面 国定公園
2022/12/15	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会 (第 95 回例会)	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大 阪府、箕面市、森林ボ ランティア団体外)	箕面市役所
2022/12/21	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 第 2 回幹事会	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会幹 事 (大阪府、箕面市 外)	箕面市役所
2023/2/16	明治の森箕面自然休養林 管理運営協議会	明治の森箕面自然休養 林管理運営協議会 (大	箕面文化・交 流センター

	(第 96 回例会)	阪府、箕面市、森林ボランティア団体外)	
2023/3/15	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会 第 3 回幹事会	明治の森箕面国定公園 保護管理運営協議会幹 事 (大阪府、箕面市 外)	書面開催





令和4年度 職員名簿

令和5年3月31日現在

上席自然再生指導官（所長）	長岡 浩明【令和5年4月1日 転出】
自然再生指導官（森林ボランティア担当）	中田 茂巳【令和5年3月31日 退職】
自然再生指導官（自然再生担当）	田上 富二男
係員（森林環境教育担当）	矢放 七海【令和5年4月1日 転出】
係員（森林ボランティア担当）	水野 日向子









〒 530-0042

大阪市北区天満橋1丁目8-75  
桜ノ宮合同庁舎2階  
箕面森林ふれあい推進センター

TEL : 050-3160-6745

メールアドレス : [kc\\_fureai@maff.go.jp](mailto:kc_fureai@maff.go.jp)

